

團體なる論議の意見、或は全同方他の幹部の
意見を徴して見ても、それは日本の労働組合戦
線の統一の得割る論議するものであらう。

ブルジョアと階級の分裂の論議による大石習之
結成の陰謀等々と思ふ。先づ僕等が自ら理想
——この理想に就いて検討せん。

(別紙 全同方他の面本を執書四十七頁 日本労働関係
規約の項を参照の事)

い 構成範圍 内の条文を引用し。

健全なる労働組合主義とは、労働組合の向題は組合自
らが定むるものであるとするの。革新的に解決するものが
正しいのが、それとも我々が指す。それは社会民
主主義ありとするのが正しいのかを明かせん。

健全なる労働組合主義とは、資本家側から見れば、それは
ゆつと労働者側を主義改良主義的とする事は、資本家の
なすべきである。労働者側からいへば、それは、
労働者の階級意識を
的組合主義が中心はあらぬ。

然るに、共産主義、馬政府主義に反対するものとは、
事に依つて、またあふ健全なる労働組合主義とは、革
命的組合主義である、事は明かである。

今日我々は國際的潮流として四流を觀る。

一は、國際的潮流のオニイターナリズム。二は、
オニイターナリズム。三は、伊大利を榮祥地とする。フアズミ
労働運動。四は無政府主義の運動。

四潮流の四、労働者側からいへば、三潮流を除くは、即ち残る
はオニイターナリズム。即ち社会民主主義である。